

平成27年度 第6回江別市行政評価外部評価委員会 会議録（要点筆記）

日 時 : 平成27年10月26日（木） 9:30～11:00
場 所 : 江別市民会館
出席委員 : 井上宏子委員長、千里政文副委員長、小原克嘉委員、鎌田利香委員、
小野寺さゆみ委員、中井和夫委員（計6名）
事務局 : 企画政策部北川部長、政策推進課千葉課長、中島主査、左川主任

会議概要

1 開会

2 議事

(1) 戦略3事業 行政評価外部評価結果取りまとめ

○井上委員長

第5回委員会後、私と千里副委員長、事務局で打合せを行い、「平成27年度行政評価外部評価結果（案）」を作成した。既にお目通し済みと思うが、評価結果（案）の5頁「6.平成27年度行政評価外部評価結果」は、分かりやすく厳しい表現で端的にまとめた。

各委員からは、「もっと具体的にすべき」という意見や、「それぞれの事業のヒアリング照会及び文書照会の結果を詳細に記し、意見・提言として記載した方が良い」などといった意見があれば発言いただきたい。本日の委員会で原案の内容を審議し、最終的な評価結果をまとめたいことから、改めて原案を丁寧に確認し内容を見直していただきたい。

では、「平成27年度行政評価外部評価結果（案）」について、事務局から説明願う。

○事務局

（「平成27年度行政評価外部評価結果（案）」1頁から5頁を説明）

○井上委員長

ここまでの内容は、委員会の総意としてまとめたため、市民目線で見ても分かりやすい表現となっていると思うが、内容や表現はいかがか。意見があれば発言願いたい。

<各委員から意見なし>

では、各事業の評価結果について、ヒアリング照会及び文書照会の結果を事業ごとに整理したので、評価結果（案）の6頁以降を事務局から説明願いたい。

○事務局

（6頁「待機児童解消対策事業」の外部評価結果を説明）

○井上委員長

この事業はヒアリング対象事業であり事業内容は記憶に新しいが、評価結果（案）の記載内容に対して、各委員から意見があれば発言願いたい。

<各委員から意見なし>

それでは、「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(7頁「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

ヒアリング実施事業以外の文書照会事業の結果については、資料とあわせて確認いただきたい。文書照会での指摘事項は、担当課から「記載を検討する」という回答を受け、次回評価表作成時には検討結果が反映されるはずである。この事業は、意見・提言欄に記載していないが、各委員から記載すべきといった意見があれば発言いただきたい。

当事業の外部評価時には、中井委員からコスト意識の指摘があったため、文書照会の照会事項6点目にて、「担当課の評価(5)効率性の“入札により建築業者等を決定するため、コスト削減の余地はない”といった内容では、市民に分かりにくいのではないか」として指摘していた。指摘に対して、担当課からは「施設整備事業にあたっては、求められる仕様を確定させた後、建築基準等を満たす設計・積算を行い、契約に関する所定の手続きを経て契約金額が決定されるため」と詳細な手順が回答にて示されており、次年度は分かりやすい評価表の記載になると思われる。

○中井委員

了。事前に確認したが、この内容ならば問題はない。

○井上委員長

コスト面については、複数事業で指摘されており、事業を実施する上で意識しなければならない視点である。これは、外部評価としても指摘が必要であることから、このような整理とした。当事業の意見・提言欄は記載がないがよろしいか。意見があれば発言願う。

<各委員から意見なし>

それでは、「小中学校学習サポート事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(8頁「小中学校学習サポート事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

この事業もヒアリング対象事業であり記憶に新しいと思うが、意見・提言欄に事務局説明のとおりの内容を加えたが、各委員から意見があれば発言願う。

<各委員から意見なし>

最後に各事業の意見を再確認するので、意見が出ればその際に発言いただきたい。

それでは、「児童生徒体力向上事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(9頁「児童生徒体力向上事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

当事業は文書照会を実施し、担当課から「記載する」または「追記する」との回答であるため、評価表の記載内容は見直しされると考えられる。何か、意見・提言欄に記載すべ

きことがあれば発言いただきたい。

○中井委員

ほかの事業にも言えることであるが、「現在の成果をもって将来の事業展開をどのように考えているか」ということを示していただきたい。この事業の実施後、更なる事業展開を視野に入れているのか、それとも、この事業の先に展開する事業はないのか、そういった内容を示してほしいと要望したい。

○井上委員長

中井委員の意見をいかすと、どのような表現が好ましいだろうか。「この事業の意図がかなうと江別市にとって有益である。よって、今後どうするのか」ということである。何か良い表現はないだろうか。

○中井委員

事業の評価は現状で良いとして、次の事業展開について期待を込めて示してほしい。

○井上委員長

評価結果（案）の6頁以降における記載様式については、「内部評価への指摘事項」と「意見・提言」をあえて切り離れた枠組みとしており、まさに中井委員の意見のような、外部評価とは異なる主旨の意見や提言を記載できるようにしている。

例えば、「子供の将来の成長が読み取れるような表現があると良いと思う」などといった記述になるだろうか。

○中井委員

そのようなことである。

○井上委員長

この意見・提言欄は、指摘というよりも要望や願望に近い表現が好ましいと考えている。

委員会からの意見・提言欄に記載する表現を考える必要があるが、意見・提言した場合、担当課が評価表のどの記載欄に内容を付記すべきかを併せて検討する必要がある。

○中井委員

担当課の評価欄のいずれかに絡めて記載することが好ましいと思う。例えば、担当課の評価（4）の成果向上余地に示してほしい、という意見でもよいと考える。

○井上委員長

今年度の10事業に関しては、「児童生徒体力向上事業」に対して、今後の将来展望に期待を込めた記載をするよう、評価結果（案）の意見・提言欄に記載し、すべての戦略事業の外部評価を完了した際の総括の報告の際に、内部評価表へ先を見越した内容を記載するように求めてはいかがか。

○中井委員

そのような記載で良いと考える。

○井上委員長

了。それでは、今の考え方を基に、今年度は「児童生徒体力向上事業」のみにおいて、意見・提言にて将来展望を示す内容を記載することとする。

それでは、「小学校外国語活動支援事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(10頁「小学校外国語活動支援事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

この事業は、ヒアリング調査にて指摘をして改善に前向きな回答を得たところである。評価結果を書面にまとめると記載内容が少ないが、指標の設定を検討するような指摘をしているため、今後、担当課の評価の記載内容も丁寧な内容になると考えられる。

当事業は、事務事業評価表に記載された情報量が少なく、事業内容が分からないことからヒアリング対象事業としたが、実際にヒアリング調査を実施し、指摘した事項が整理されたことで記載内容のとおりに端的な評価結果となった。今後、記載内容が改善されることを考えると、この内容で問題ないと思うが、各委員から何か意見があれば発言願う。

<各委員から意見なし>

では、「親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）」について、事務局から説明願う。

○事務局

(11頁「親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

この事業もヒアリング対象事業であり、ヒアリング調査にて内容確認できた状況をまとめたものである。

この事業について、意見のある委員がいれば発言願う。鎌田委員はいかがであるか。

○鎌田委員

ヒアリング時に、市民と市外居住者の利用に何かしらの差をつけるべきとの指摘もあり、今後、見直しも視野に入れ検討するような意見が出ていたが、意見・提言の欄にその旨を記載してはいかがか。

○井上委員長

それでは「市外利用者ではなく、市民にとって利活用しやすい、良い施設であるべきと考える」という表現はいかがか。ここでは、「市民にとって」という部分を強調すべきと考える。これにより、江別市民へのPR方法も変わってくるかもしれない。

この内容は、意見・提言欄に加えることとしたい。

次に、「あそびのひろば事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(12頁「あそびのひろば事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

この事業は文書照会にて内容を確認した事業である。担当課からは、「分りやすい内容の記載となるよう検討する」、「不適当な表現は削除するよう検討する」との回答である。

この事業についても、指摘事項の改善が見込まれるが、意見・提言欄の記載がないことも含め、何か意見があれば発言願いたい。

<各委員から意見なし>

では、次に「江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）」について、事務局から説明願う。

○事務局

（13頁「江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）」の外部評価結果を説明）

○井上委員長

この事業も文書照会にて内容を確認した事業である。江別の顔づくり事業の全体像が分からなかったが、事業全体の1事業であることからあえてヒアリング対象とはしなかったが、本来、市民としては深く広く知っておきたい事業である。評価表の記載内容からは文書照会したとおりの指摘となるが、担当課の回答からも今後の記載内容の改善が見込まれるところである。意見・提言欄への加える内容があれば発言願いたい。

○中井委員

江別の顔づくり事業の全体が分かるものを示すべきと考える。事務事業評価表が市民にとって分かりやすい説明を求めるものであれば、顔づくり事業の全体について、評価表に付記すべきである。

この件は、委員会としての意見となるか否かは別として、改めて意見したい。

○井上委員長

事務局へ確認であるが、事務事業評価表に参考資料を添付する対応は可能であるか。

○事務局

そのような対応は行っていない。市民へ公開する資料として、事業内容及び担当課評価などを事務事業評価表として1枚にまとめて公開しているものである。

○井上委員長

中井委員の意見もよく分かる。例えば、評価表内の「事業を取り巻く環境変化」欄において、「参考資料はこういったものになる」といった趣旨の記載をするのはいかがか。

○事務局

顔づくり事業であれば、「事業を取り巻く環境変化」や「事業開始背景」の欄において、事業全体について簡単に記載するといったことであれば可能と考える。

○井上委員長

すべてを記載すると長くなるが、説明書きや資料名を記載できれば、市民も読み取りやすくなるのではないか。

○事務局

大きな事業であって、事業計画を公表しているのであれば、計画の名称などを記載することで事業内容が理解されやすくなると思う。

○中井委員

この事業は、顔づくり事業の一部として、事業名称に括弧書きがされているが、本来、この事業のみを外部評価するのではなく、顔づくり事業の全事業を対象にすべきと考える。

○井上委員長

江別の顔づくり事業には既に検討委員会があり、検討委員会が事業を議論する場となる。

各事務事業が集まって「江別の顔づくり事業」として事業全体が構成されているわけだが、この行政評価外部評価委員会において、江別の顔づくり事業全体を外部評価するとすれば、各事務事業の内部評価ひとつひとつを外部評価しなければならず、市が本委員会にその役割までを求めるかという議論になる。

そのため、このような事業のまとめとして、「全体事業のうち、個別の事務事業評価表のみを外部評価しても、事業の全体像が見えにくい」と結論付けることでいかがか。

○中井委員

了。その結論で異論はない。

○井上委員長

それでは、今の結論付けから、当該事業の意見・提言としないということによろしいか。

<各委員から異議なし>

それでは、次に「公共交通利用促進対策事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(14頁「公共交通利用促進対策事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

この事業は文書照会であるが、各委員から何か意見があれば発言願う。

○中井委員

この文書照会では、担当課から「検討する」という回答ばかりだがこれで良いのか。もう1点は、評価表の記載内容において、活動指標が「利便性向上や利用促進等のために行った事業数」、成果指標が「バス輸送人員」のみであるが、事業で取り組んでいる内容をもう少し詳細に記載すべきと考える。

○井上委員長

ここでの意見・提言は、「市民にとって必要な事業であることを見えるように記載する」旨の記載でいかがか。例えば、広報えべつの記事のような記載が好ましいと考える。広報えべつでは、バス路線を示して活動状況を報告しているが、そのような内容を事務事業評価表へ記載できれば分かりやすくなると思う。

○事務局

事業を取り巻く環境変化にて、「新しいバス路線の検討のために実証実験を行っている」旨の記載のほか、将来のバス路線の改編などの課題についても記載が可能と考える。

○井上委員長

意見・提言欄は「将来に向けて利便性の高いバス路線の運行を期待する」でいかがか。

○事務局

了。各事業において、取り組んでいる事業の内容について、事業開始背景や環境変化欄への記載を増やすことは可能である。

○井上委員長

取り組んでいる内容を詳細に記載することは、市民サービスをPRする点からも必要とされる。適切な税金の用途を発信する意味からも評価表へ詳細に示してほしいと考える。

では、最後の「大麻地区住環境活性化事業」について、事務局から説明願う。

○事務局

(15頁「大麻地区住環境活性化事業」の外部評価結果を説明)

○井上委員長

この事業も指摘事項が整理されることで事業の全体像が見えてくるものとする。文書照会の回答も総じて指摘事項に改善が見込まれるものである。

外部評価時大麻地区について意見があったが、小原委員は何か意見はないだろうか。

○小原委員

一般的に大麻地区というのは文京台地区も含んでおり、文京台地区の住民も大麻地区に含まれていると認識している。担当課からの照会結果内容の記載で問題ないとする。

○井上委員長

了。では、ほかに意見のある委員はいないだろうか。

<各委員から意見なし>

意見がなければ、当該事業の審議は終了する。

今年度外部評価事業の10事業の結果について審議したが、本日の意見を踏まえて意見・提言欄を追記し、平成27年度の外部評価結果としたい。

全体を通して、小野寺委員は何か意見はないだろうか。

○小野寺委員

委員会としてではなく個人的な意見であるが、実際に外部評価をすることで事務事業評価表から事業内容や事業の実施状況が分かったところであるが、戦略3の10事業のうち、「公共交通利用促進対策事業」「大麻地区住環境活性化事業」の2事業については、平成27年度当初の事業費が平成26年度実績と比較して大きく変動している。

この事務事業評価表が、平成26年度の事業実績を総括する評価ならば、次年度の当初の事業費の増減理由を明確に記載した方が、税金の有効利用について市民理解が得やすいとする。

○井上委員長

今回の外部評価結果では具体的な指摘はないが、事業費の増減理由は、市民目線で必要な情報であるため記載していただきたいが、今年度は評価結果とせず感想としたい。

小原委員はいかがか。

○小原委員

市民目線で外部評価に参加してきたが、「当然と思う部分」と「なるほどとなる部分」があり、自分自身の事業を見る視点も変わってきたので、来年度に向けて的確な指摘ができるよう今後も取り組んでいきたい。

○井上委員長

鎌田委員はいかがか。

○鎌田委員

最初は、事業をどのように外部評価するかの視点が分からず、分かりやすい表現か否か

に着目することが多かった。今年度、本委員会で審議を重ねるうちに外部評価の視点が分かってきたので、次年度以降は今年度の経験を生かしたいと考えている。

○井上委員長

中井委員はいかがか。

○中井委員

現在は、事務事業評価表を係単位で作成しているが、これを課単位若しくは部単位で作成してもらいたいと感じた。これにより担当課目線となっている記載も、視野が広がってよりわかりやすい評価表になると考えられる。

○井上委員長

今年度は、各事業の評価表において、記載内容を細かく外部評価した。先程、鎌田委員から、外部評価の視点が分からなかったが勉強になったという話があった。しかし、これが本来の市民目線だと思う。委員が見て難しい言葉や分かりにくい言葉は、一般市民が見ても分かりにくい。この分かりにくい部分を指摘し改善を促すことが、本委員会の大切な役割である。専門的な知識を持ちすぎてしまうことで、市民感覚が薄れてしまうことから、市民感覚で外部評価することも大切であると感じた。

今年度の未来戦略における戦略3の10事業を外部評価結果については、千里副委員長と事務局と調整の上、結果を市長へ提出したいと考えている。提出前に本日の審議を踏まえた外部評価結果を、各委員へ確認いただくので何かあれば意見をいただきたい。

(2) その他

3 その他

○事務局

(事務局挨拶)

○井上委員長

各委員に検討・審議を重ねていただいたことで、今年度の外部評価結果をまとめることができた。また、次年度からも本委員会を進めていくが、次年度の外部評価のはじまりまでの期間に、市内の様々な部分に目を向けて気づいたことはぜひ発言いただきたい。

今年度は、外部評価にご協力いただきありがとうございました。

4 閉会